

令和元年度事業報告

令和元年度は、平成31年3月の第15回理事会の議決を経た事業計画に基づき、道路橋点検士技術研修会、講演会、助成、国内外の支援活動、広報及び橋梁の診断業務等を実施した。

1 実施事業等

1-1 研修等

(1) 道路橋点検士技術研修会

道路橋の点検を担う技術者の更なる技術力の向上や点検結果の精度・信頼性の確保を図るため、令和元年度は道路橋点検士技術研修会を5回実施した。令和元年度の研修修了者は647名、平成6年度からの累計開催数は107回で、累計の研修修了者は14,937名となった。また、道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、43名が受講した。

さらに、道路橋点検士委員会において道路橋点検士技術研修会と同等であると認定された他機関が実施する道路橋の点検に関する研修等の合格者等のうち、受験希望者に対し道路橋点検士補検定試験を1回実施し、5名が合格した。

(2) 道路橋点検士制度

平成26年度に「国土交通省登録資格」として登録した道路橋点検士は、5年度ごとに更新する必要があるため、令和元年度に登録の更新を行った。

道路橋点検士及び道路橋点検士補の登録者数は以下のとおり。

	登録者数		国土交通省登録資格
	令和元年度	累計	
道路橋点検士	680名	7,550名	令和2年2月更新
道路橋点検士補	133名	1,191名	平成28年2月登録

平成30年度に引き続き、道路橋点検士の更新期限を迎える方を対象とする道路橋点検士更新講習会を開催した。令和元年度は平成26年度以降に登録された道路橋点検士を対象とし6都市で9回実施し、1,163名が受講した。

1-2 自主研究

(1) 橋梁保全に関する調査研究

AIを活用した道路橋メンテナンスの効率化に向け、令和元年度は平成30年度に引き続いて共同研究に参画し、主に診断AIの開発として熟練技術者の経験的な知識等についての体系化等を行った。

(2) 国際会議への参加

以下の国際会議等に職員を派遣し、橋梁技術等に関する意見交換、情報収集を行った。

会議名	日程	会議場所
REAAA 評議員会・ビジネスフォーラム	4月9日～12日	台北市(台湾)
PIARC 技術委員会・国際ワークショップ	5月5日～12日	サンフランシスコ・アーバイン(米国)
fib(国際コンクリート連合) symposium2019	5月27日～6月2日	クラクフ(ポーランド)
IBC(国際橋梁会議)	6月8日～16日	ナショナルハーバー(米国)
PIARC 世界道路会議	10月4日～11日	アブダビ(アラブ首長国連邦)
PIARC キックオフミーティング	1月28日～2月2日	パリ(フランス)

(3) 賛助会員特別講演会の開催

平成25年度より賛助会員を対象として、橋梁調査会の取組みと時事テーマを取り上げた講演会を開催している。令和元年度は4月に大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻教授の矢吹信喜氏より「BIM/CIMによるインフラマネジメントの高度化」をテーマとして講演が行われた。参加者は129名である。

(4) 助成

橋梁技術に関する研究開発に関して公募し、優秀計画と認められる5件に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

- 強風時の橋梁上の車両走行の安全性確保と合理的な規制方法に関する研究
- 橋梁定期点検における部材損傷度判定AIの構築
- 設計の想定を超える地震作用に対する橋梁全体系の崩壊に対するロバスト性評価
- 道路橋床版疲労シミュレーションに向けたRC床版疲労解析における輪荷重走行試験と実橋との等価解析条件の検討
- 日本での就労を希望するベトナム人橋梁技術者の意識および資質に関する調査研究

(5) 寄附

- ・ 京都大学の「道路アセットマネジメント政策（橋梁調査会）講座」へ寄附

橋梁・舗装マネジメント等の道路管理に関する政策の一環として、今後のより高度で効果的・効率的なアセットマネジメントの立案及び実施方策に関して研究を行う講座へ寄附を行った。

設置期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日

(6) 支援活動

JICA等が実施する国際協力研修に講師を派遣した。

研 修 名	時 期	研修 参加人数
課題別研修「道路維持管理（E）」 (JICA)	5月15日	7名
課題別研修「橋梁総合」 (JICA)	10月2日	14名

1-3 広報

(1) 機関誌「J_BEC レポート」の刊行

機関誌「J_BEC レポート」Vol.15を刊行した。

(2) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局等が主催する建設技術展等のイベントに参加し、橋梁の点検・診断技術等に関する発表を行うとともに、展示を行った。

また、「建設技術フェア2019in中部」等への後援、「道路ふれあい月間」等への協賛を行った。

2 その他事業

2-1 調査研究業務

(1) 橋梁の診断業務

平成31年2月及び3月に改訂された国土交通省の「道路橋定期点検要領」及び「橋梁定期点検要領」に基づき、直轄国道の橋梁診断業務を実施した。

(2) 橋梁工事技術審査支援業務

四国地方整備局が実施する総合評価方式による橋梁工事について、入札評価手続きに関する支援業務を実施した。

(3) 橋梁点検用ロボット開発導入支援業務

ロボットによる橋梁点検の実施可能性を検証するため、試行的導入に向けた現地検証の実施、各ロボット技術の評価、評価委員会の運営等の支援業務を実施した。また、先進的な橋梁点検技術の現場検証の支援、ロボット等を効率的に導入することを目的とするガイドラインやカタログの検討業務等を実施した。

(4) 国の道路橋維持管理施策に関する業務

道路メンテナンス年報の作成にかかる点検実施率、点検診断結果、判定区分Ⅳの施設の措置状況、さらに修繕実施状況等のデータ整理を実施した。

(5) 地方公共団体の道路橋維持管理に関する支援業務

島根県等地方公共団体が実施している橋梁の維持管理全般を支援するために、橋梁の点検・診断、補修・補強に関する諸問題に対してアドバイスを実施した。

山口県が管理する橋梁の長寿命化に資する耐久性向上策の検討を行った。

(6) 道路橋データベースに関する検討業務

道路メンテナンスにかかるDBへの入力項目やデータの収集方法に関する検討を実施した。

2-2 人材育成支援業務

国土交通省及び地方公共団体の職員を対象として、橋梁の維持管理等に関する研修を支援した。

2-3 出版

「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」他の図書の販売を行った。

3 その他

3-1 会議の開催

(1) 理事会

第16回理事会 令和元年6月4日

決議事項：平成30年度事業報告及び決算(案)について

第8回定時評議員会の招集について

報告事項：職務執行状況の報告について

第17回理事会 令和元年6月21日

決議事項：理事長及び専務理事の選定について

顧問の委嘱について

第18回理事会 令和2年3月19日

決議事項：令和2年度事業計画及び予算について

報告事項：職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

第8回評議員会 令和元年6月20日

決議事項：平成30年度決算（計算書類等）の承認について

評議員の選任について

理事及び監事の選任について

報告事項：平成30年度事業報告

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月

一般財団法人 橋梁調査会